

令和2年度施行

整備事業第2-2号 消火栓設置工事

仕 様 書

草加市上下水道部

総括表

令和2年度	工事番号	5-2-1002		
工事名	整備事業第2-2号 消火栓設置工事			
路線名	市道30229号線 他1路線	工事場所	草加市氷川町地内 他1箇所	
設計額	金	円		
工事価格	金	円		
消費税相当額	金	円		
工 事 概 要	本管工事			
		地下式消火栓(単口)	Φ75	2基
	給水・仮配管工事			
	舗装復旧面積 16.88㎡			

本 工 事 内 訳 書

工種:

費 目	工 種	種 別	細別／規格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費				式	1			
共通仮設費				式	1			
	共通仮設費率計算額			式	1			
	共通仮設費 積上額計			式	1			
		準備費		式	1			
			準備費		1			第7号明細表, A1000//1
		技術管理費		式	1			
			技術管理費		1			第8号明細表, A1000//2
純工事費				式	1			
	現場管理費			式	1			

直接工事費内訳書

工種:

費目	工種	種別	細別/規格	単位	数量	単価	金額	摘要
消火栓工				式				Y10901//4
	材料			式	1			第1号明細表, AZ0902//4
	管工			式	1			第2号明細表, AZ0904//2
	土工			式	1			第3号明細表, AZ0110//1
本復旧工				式				Y10903//2
	本復旧工			式	1			第4号明細表, AZ0906//1
交通誘導員				式				Y10903//4
	交通誘導員			式	1			第5号明細表, AZ0910//1
仮設工事				式				Y10903//3
	水替工			式	1			第6号明細表, AZ0910//2

消火栓工
第3号明細表の1
AZ0110-0000-01

土工 1式当り明細表

種別：
形状：
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版	舗装厚:15cm以下	m	8.40				第6号表, SP1D210//1
舗装版取り壊し積込工	0cm超え10cm以下 小型BH コーラ山積0.13m3排ガス1次	m2	3.92				第7号表, SS1040//3
小型バックホウ掘削積込	小型BH コーラ型 山積0.13m3排ガス2次	m3	1.36				第8号表, SS1000//3
管土工 (人力+BH0.10m3)	レキ・砂・砂質・粘性土	m3	2.86				第9号表, S100005//1
仮復旧工(人力施工)	再生密粒度アスコン(13) 瀝青材散布なし 仕上厚5cm 車道及び路肩	m2・1層	3.52				第10号表, SZ1070//1
上層路盤工	仕上り厚 20cm 2層(幅1.8m未満) 再生粒度調整砕石 RM-40	m2	3.52				第11号表, SZ1050//7
下層路盤工	仕上り厚 19cm(幅1.8m未満) 再生クラッシュ RC-40	m2	3.52				第12号表, SZ1050//2
管路埋戻工(機械)	再生砂 小型BH コーラ型 山積0.13m3排ガス2次	m3	2.66				第13号表, SZ1010//1
残土処分工(リサイクルプラント)	積込2次0.13m3、ダンプトラック2t車 L=4km DID区間有	m3	4.22				第14号表, SX1030//9
廃材処分工(As塊・車道)	積込2次0.13m3、ダンプトラック2t車 L=4km DID区間有	m3	0.18				第15号表, SX1030//10

本復旧工
第4号明細表の1
AZ0906-0000-01

本復旧工 1式当り明細表

種別：
形状：
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版	舗装厚:15cm以下	m	15.52				第6号表, SP1D210//1
舗装版取り壊し積込工	0cm超え10cm以下 小型BH コーラ山積0.13m3排ガス1次	m2	16.88				第7号表, SS1040//3
小型バックホウ掘削積込	小型BH コーラ型 山積0.13m3排ガス2次	m3	0.16				第8号表, SS1000//3
表層(車道・路肩部) プライムコート PK-3	1.4m未満(仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン(13)	m2	13.36				第16号表, SP1B130//2
表層(車道・路肩部) タックコート PK-4	1.4m未満(仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン(13)	m2	3.52				第17号表, SP1B130//6
基層(車道・路肩部) プライムコート PK-3	1.4m未満(仕上り厚50mm以下) 50mm 再生粗粒度アスコン(20)	m2	3.52				第18号表, SP1B110//2
不陸整正工	仕上り厚4cm(幅1.8m未満) 再生粒度調整砕石 RM-40	m2	16.88				第19号表, SZ1060//3
残土処分工(リサイクルプラント)	積込2次0.13m3、ダンプトラック2t車 L=4km DID区間有	m3	0.16				第14号表, SX1030//9
廃材処分工(As塊・車道)	積込2次0.13m3、ダンプトラック2t車 L=4km DID区間有	m3	0.84				第15号表, SX1030//10
区画線工 溶融式 黄色 15cm(材料)	無 実線 1.5mm 15~18% As舗装	m	6.80				第20号表, S1000//1

第1号表
SZ0760-0000-03

不断水連絡工 1箇所当り単価表

種別：本管鑄鉄管 φ150×取出φ75
形状：
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人				1	R0100
配管工		人				1	R3200
普通作業員		人				1	R0200
不断水穿孔機損料	φ75	日					MZ03342
諸雑費		%					Z1000
合 計		箇所	1				
単 位 当 り		箇所	1				

第2号表
SZ0760-0000-01

不断水連絡工 1箇所当り単価表

種別：本管鑄鉄管 φ100×取出φ75
形状：
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人				1	R0100
配管工		人				1	R3200
普通作業員		人				1	R0200
不断水穿孔機損料	φ75	日					MZ03342
諸雑費		%					Z1000
合 計		箇所	1				
単 位 当 り		箇所	1				

第5号表の1
SZB0210-0000-10

消火栓室設置工(材工共) 1箇所当り単価表

種別 : 浅層埋設用(高さ調整対応型)、DP=0.70m以下
形状 :
備考 :

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
レゾコン消火栓室用鉄蓋	食込制御型 T-25	組	1				HW11305
レゾンブロック(高さ調整対応型)	A-200 φ500	個	1				HW11405
レゾンブロック(高さ調整対応型)	C-200 φ500	個	1				HW11410
底板(高さ調整対応型レゾンブロック用)	40S φ500	個	1				HW11505
無収縮モルタル	25.0kg入	袋	0.4				HW61115
高さ調整用ボルト・ナット	M16×L=75(高さ調整駒含)	組	1				HW61320
消火栓室用型枠		回	1				HW61405
鉄蓋設置	円形3号 500mm 無収縮モルタル計上しない	個	1				第22号表, SS0900//1
レゾンコンクリート製ボックス設置(円形)	3号 上部壁 H=200mm	個	1				第23号表, SS0904//1
レゾンコンクリート製ボックス設置(円形)	3号 下部壁 H=200mm	個	1				第24号表, SS0904//4

第6号表
SP1D210-0000-01

舗装版切断 アスファルト舗装版 1m当り単価表

種別 : 舗装厚:15cm以下
形式 :
備考 :

代表機	材規格	構成比	地区単価	積算規格	基準単価	備考
K		6.29				
K1	コンクリートカッター損料/バキューム式・湿式 切削深20cm級 フレート径56cm	4.25		Q2080/5 [基準単価]コンクリートカッター損料/バキューム式・湿式 切削深20cm級 フレート径56cm		M2080/5
R		54.24				
R1	特殊作業員	18.9		U0100 [基準単価]特殊作業員		R0100
R2	土木一般世話役	9.56		U4000 [基準単価]土木一般世話役		R4000
R3	普通作業員	8.2		U0200 [基準単価]普通作業員		R0200
Z		39.47				
Z1	カッターフレート径56cm (22インチ)	36.63		J2412 [基準単価]カッターフレート径56cm (22インチ)		T2412
Z2	ガソリン/レギュラー	1.92		J0700 [基準単価]ガソリン/レギュラー(スタンド渡し)		T0700
	合計					
	単位当り					

第7号表
SS1040-0000-03

舗装版取り壊し積込工 100m2当り単価表

種別：0cm超え10cm以下
形状：小型BH クロー山積0.13m3排ガス1次
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人					R4000
普通作業員		人					R0200
小型バックホウ運転	クロー型 山積0.13m3 排出ガス対策型1次	日					第26号表, SM020//1
諸雑費		式	1				Z9000
合 計		m2	100				
単 位 当 り		m2	1				

第11号表
SZ1050-0000-07

上層路盤工 100m2当り単価表

種別：仕上り厚 20cm 2層(幅1.8m未満)
形状：再生粒度調整砕石 RM-40
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人					R0200
再生粒度調整砕石	RM-40	m3	25.4				T0555
クハ ^ハ 運転	60～80kg	日					第32号表, SM107//1
諸雑費		式	1				Z9000
合 計		m2	100				
単 位 当 り		m2	1				

第12号表
SZ1050-0000-02

下層路盤工 100m2当り単価表

種別：仕上り厚 19cm(幅1.8m未満)
形状：再生クラッシュラン RC-40
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人					R0200
再生クラッシュラン	RC-40	m3	24.13				T0545
タンバ ^〇 運転	60～80kg	日					第32号表, SM107//1
諸雑費		式	1				Z9000
合 計		m2	100				
単 位 当 り		m2	1				

第13号表
SZ1010-0000-01

管路埋戻工(機械) 100m3当り単価表

種別：再生砂
形状：小型BH クロー型 山積0.13m3排出ガス対策型2次
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人					R4000
普通作業員		人					R0200
再生砂		m3	126				TP34010
小型バックホウ運転	クロー型 山積0.13m3 排出ガス対策型2次	日					第27号表, SM020//2
クワ運転	60～80kg	日					第33号表, SM107//3
諸雑費		式	1				Z9000
合 計		m3	100				
単 位 当 り		m3	1				

第16号表の1
SP1B130-0000-02

表層(車道・路肩部) フライムコート PK-3 1m2当り単価表

種別 : 1.4m未満(仕上り厚50mm以下)
形式 : 50mm 再生密粒度アスコン(13)
備考 :

代表機	材規格	構成比	地区単価	積算規格	基準単価	備考
K		0.5				
K1	振動ロータ損料/舗装用 ハッドがイド式 0.5~0.6t	0.29	Q1830	[基準単価]振動ロータ損料/舗装用 ハッドがイド式 0.5~0.6t	M1830	
K2	振動コンパクタ損料/前進型 40~60kg	0.14	Q1854	[基準単価]振動コンパクタ損料/前進型 40~60kg	M1854	
R		43.62				
R1	特殊作業員	19.62	U0100	[基準単価]特殊作業員	R0100	
R2	普通作業員	13.68	U0200	[基準単価]普通作業員	R0200	
R3	土木一般世話役	3.98	U4000	[基準単価]土木一般世話役	R4000	
Z		55.88				
Z1	再生アスファルト混合物/再生密粒度AS混合物(13)	51.04	J0660/1	[基準単価]アスファルト混合物/密粒度20	T0665	
Z2	アスファルト乳剤/PK-3 フライムコート用	4.67	J0772	[基準単価]アスファルト乳剤/PK3	T0772	
Z3	ガソリン/レギュラー	0.12	J0700	[基準単価]ガソリン/レギュラー(スタンド渡し)	T0700	
Z4	軽油/1.2号	0.03	J0710	[基準単価]軽油/パトロール給油	T0710	
合計						

第17号表の1
SP1B130-0000-06

表層(車道・路肩部) タックコート PK-4 1m2当り単価表

種別 : 1.4m未満(仕上り厚50mm以下)
形式 : 50mm 再生密粒度アスコン(13)
備考 :

代表機	材規格	構成比	地区単価	積算規格	基準単価	備考
K		0.52				
K1	振動ロー損料/舗装用 ハッドガイド式 0.5~0.6t	0.3	Q1830	[基準単価]振動ロー損料/舗装用 ハッドガイド式 0.5~0.6t		M1830
K2	振動コンパクタ損料/前進型 40~60kg	0.15	Q1854	[基準単価]振動コンパクタ損料/前進型 40~60kg		M1854
R		45.01				
R1	特殊作業員	20.24	U0100	[基準単価]特殊作業員		R0100
R2	普通作業員	14.12	U0200	[基準単価]普通作業員		R0200
R3	土木一般世話役	4.11	U4000	[基準単価]土木一般世話役		R4000
Z		54.47				
Z1	再生アスファルト混合物/再生密粒度AS混合物(13)	52.65	J0660/1	[基準単価]アスファルト混合物/密粒度20		T0665
Z2	アスファルト乳剤/PK-4 タックコート用	1.64	J0772/1	[基準単価]アスファルト乳剤/PK4		T0772/1
Z3	ガソリン/レギュラー	0.13	J0700	[基準単価]ガソリン/レギュラー(スタンド渡し)		T0700
Z4	軽油/1.2号	0.03	J0710	[基準単価]軽油/パトロール給油		T0710
合計						

第18号表の1
SP1B110-0000-02

基層(車道・路肩部) フライムコート PK-3 1m2当り単価表

種別 : 1.4m未満(仕上り厚50mm以下)
形式 : 50mm 再生粗粒度アスコン(20)
備考 :

代表機	材規格	構成比	地区単価	積算規格	基準単価	備考
K		0.54				
K1	振動ローザ損料/舗装用 ハッドがイト式 0.5~0.6t	0.31		Q1830 [基準単価]振動ローザ損料/舗装用 ハッドがイト式 0.5~0.6t		M1830
K2	振動コンバクタ損料/前進型 40~60kg	0.15		Q1854 [基準単価]振動コンバクタ損料/前進型 40~60kg		M1854
R		46.59				
R1	特殊作業員	20.95		U0100 [基準単価]特殊作業員		R0100
R2	普通作業員	14.61		U0200 [基準単価]普通作業員		R0200
R3	土木一般世話役	4.26		U4000 [基準単価]土木一般世話役		R4000
Z		52.87				
Z1	再生アスファルト混合物/再生粗粒度AS混合物(20)	47.69		J0655 [基準単価]再生アスファルト混合物/粗粒度20		T0655
Z2	アスファルト乳剤/PK-3 フライムコート用	4.99		J0772 [基準単価]アスファルト乳剤/PK3		T0772
Z3	ガソリン/レギュラー	0.13		J0700 [基準単価]ガソリン/レギュラー(スタンド渡し)		T0700
Z4	軽油/1.2号	0.04		J0710 [基準単価]軽油/パトロール給油		T0710
合計						

第19号表
SZ1060-0000-03

不陸整正工 100m2当り単価表

種別：仕上り厚4cm(幅1.8m未満)
形状：再生粒度調整砕石 RM-40
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人					R0200
再生粒度調整砕石	RM-40	m3	5.08				T0555
クハ ^レ 運転	60～80kg	日					第32号表, SM107//1
諸雑費		式	1				Z9000
合 計		m2	100				
単 位 当 り		m2	1				

第20号表
S1000-0000-01

区画線工 溶融式 黄色 15cm (材料) 1000m当り単価表

種別：無 実線 1.5mm 15~18% As舗装
形状：
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 黄鉛・グリーン	k g	570			1	DZ02000/75
接着用プライマー	区画線用	k g	25			1	DZ02010/5
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	k g	25			1	DZ02020/5
軽油	1.2号	リットル	44			1	T0710
諸雑費		%					Z1000
合 計		m	1,000				
単 位 当 り		m	1				

第31号表
SM078-0000-01

振動コンパクタ運転 1日当り単価表

種別：前進型 40～60kg
形状：
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					R0100
ガソリン	レギュラー	リットル	5				T0700
振動コンパクタ損料	前進型 40～60kg	供用日					M1854
諸雑費		式	1				Z9000
合 計		日					
単 位 当 り		日					

第36号表
SYG1915-0000-01

ポンプ運転 1日当り単価表

種別：φ50mm 作業時排水
形状：発動発電機
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人				1	R0100
普通作業員		人				1	R0200
工事用水中モータポンプ 損料	普通型(潜水ポンプ) 径50mm 5m	日				1	M2548
発動発電機損料	ガソリンエンジン駆動 3kva	日				1	M2844
諸雑費		%					Z1000
合 計		日					
単 位 当 り		日					

工事仕様書

[共通]

1 適用

本工事は、「草加市水道工事標準仕様書」「水道工事標準仕様書【土木工事編】(日本水道協会)」「埼玉県土木工事实務要覧」を優先として適用するものとする。

ただし、出来形管理等の検査基準については、表記図書のほか「草加市建設工事検査基準」「草加市建設工事検査要領」を適用し、これを最優先とする。

また、「埼玉県土木工事实務要覧」に規定されている項目について、草加市水道事業が定めたものについては、それを最優先とする。

なお、不明な点が生じた場合は、契約に基づく協議等により施工するものとする。

2 不当要求行為の排除

受注者は、草加市政における公正な職務執行の確保に関する条例(平成19年条例第16号)第6条及び草加市が締結する契約からの暴力団排除措置要綱(平成8年告示第155号)第9条の規定に基づき、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 受注者及び受注者の下請業者が、暴力団等から不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、市長に報告するとともに、所轄の警察署に届けること。

(2) 受注者は、市及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。

3 草加市個人情報保護条例の遵守

受注者は、「草加市個人情報保護条例(平成12年条例第31号)」及び草加市情報セキュリティ対策基準を遵守すること。また、業務上知り得た事項を漏らしてはならない。

4 彩の国建設リサイクル実施指針の遵守

受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

工事仕様書

5 工事实績情報システム（CORINS）への登録

受注者は、受注時又は変更時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更後10日以内に、完成時は完成後（工事完成検査合格後）10日以内（いずれも土曜日・日曜日・祝日・12月29日から1月3日までを含む。）に、訂正時は速やかに（一財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。ただし、単価契約の場合は、完成時に請負代金額の総額が500万円以上の工事を対象とし、竣工登録を行うものとする。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の登録内容確認書が受注者に届いた場合は、その写しを直ちに担当監督員に提出しなければならない。

なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

6 現場代理人の兼任について

現場代理人の兼任については、「草加市公共工事に係る現場代理人の常駐業務緩和措置について」による。

7 主任技術者の兼任について

主任技術者の兼任については、「草加市建設工事における技術者の専任に係る取扱要領」による。

8 必要書類の提出

受注者は、「草加市土木工事関係様式集」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に規定されている書類を速やかに監督員に提出しなければならない。また、草加市環境マネジメントシステムに基づく取組に協力するものとする。

工事仕様書

9 建設廃棄物、建設発生土等の処理計画書の提出

受注者は、現場着手前に建設廃棄物、建設発生土等の処理計画書を提出すること。

なお、建設廃棄物の処分に当たり、受注者は、処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画書に添付しなければならない。また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画書に添付しなければならない。

10 建設発生土の搬出について

(1) 受注者は、500 m³以上の建設発生土を搬出する場合は、埼玉県土砂の排出、たい積等の規制に関する条例（埼玉県土砂条例）に基づき、土砂排出届出書を受理担当機関へ提出するものとする。

(2) 受注者は、100 m³以上の建設発生土を草加市以外に搬出する場合は、搬出前に搬出先市町村の担当窓口宛てに、搬出先市町村が定めた様式による「建設発生土搬出のお知らせ」を郵送・FAX等で提出し、その写しを施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。

11 安全・訓練等の計画

受注者は、工事内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、施工計画書に明記するものとする。

12 境界資料

受注者は、発注者に対し、工事に係る境界の資料を求めるものとする。

13 既存杭の保全

受注者は、工事施工に当たり、境界杭、民杭を含めた全ての既存杭の保全について、責任を負わなければならない。なお、民杭を撤去復旧等する場合は、地権者に立会いを求め、責任をもって行うものとする。

工事仕様書

14 境界杭の確認

境界杭の確認等については、次のとおり実施するものとする。なお、既存杭に影響のない工事については、対象としないものとする。

(1) 工事着手前

受注者は、既存杭の確認を行い、写真、図面等で測量成果簿を作成し、提出するものとする。

(2) 構造物（側溝等）施工後

受注者は、施工した構造物等と既存杭又は仮杭との位置の確認を行い、写真、図面等で測量成果簿を作成し、提出するものとする。

(3) 工事完了後

受注者は、施工した構造物等と既存杭又は仮杭との位置の確認を行い、写真、図面等で測量成果簿を作成し、提出するものとする。

15 工事作業時間

工事作業時間は、通常午前9時00分から午後5時00分までとし、前後30分間は準備・後片付けの時間とする。

なお、道路使用許可時間以外に作業をすることが予想される場合は、事前に監督員と協議し、警察及び関係住民に連絡すること。ただし、道路工事等協議書により時間帯が指定されている場合は、当該協議書を優先するものとする。

16 安全・訓練等の実施

受注者は、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、現場に即した安全・訓練等を実施するものとする。

なお、実施内容については、次の項目を参考とする。

(1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育

(2) 工事内容等の周知徹底

(3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底

工事仕様書

(4) 災害対策訓練

(5) 現場で予測される事故の対応訓練

(6) その他、安全・訓練等として必要な事項

17 占用物付近での施工

受注者は、地下埋設物及び架空線付近を施工する際には、必ず管理者の立会いを求め、指示を仰ぐとともに、十分注意して施工しなければならない。

18 局地的な大雨に対する工事等安全対策

受注者は、以下の(1)から(4)までの内容について、安全管理計画を明記した施工計画書を作成し、発注者の確認を得るとともに、その内容について作業員への周知徹底を図ること。また、補完する情報として、「局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き(案)(平成20年10月局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策検討委員会)」に準じるものとする。

(1) 現場特性の事前把握

受注者は、作業現場付近の浸水被害、既往事故、ハザードマップ等の資料を基に、作業現場の状況を把握すること。

(2) 工事等の中止・再開基準の設定

受注者は、標準的な中止基準を踏まえ、現場特性に応じた工事箇所ごとの中止基準を設定すること。

また、工事等開始後に気象情報や気象状況の変化により大雨の予兆を捉えた場合には、中止基準に至る前の時点においても、これらの中止基準を補完する情報を活用し、工事等の中止判断を的確に行うこと。工事等の開始に当たっては、中止基準に抵触せず、当該作業現場の安全が十分確保されていることを確認すること。

また、工事等の中止及び再開を行った場合には、監督員にその旨連絡すること。

なお、標準的な中止基準とは、当該工事等箇所又は上流部に洪水又は大雨の注意報・警報が発表された場合のことをいう。

工事仕様書

(3) 迅速に退避するための対応

(4) 日々の安全管理の徹底

19 舗装版切断時に発生する濁水の処理

舗装版切断工（バキューム式）を行う場合には、別添の「舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書」によるものとする。

20 再生砂の使用

再生砂を使用する工種がある場合は、使用に先立って、六価クロム溶出試験を1購入先当たり1検体の頻度で実施し、試験結果(計量証明)を材料使用前に監督員へ提出するものとする。使用予定の再生砂が環境基準に適合しない結果となった場合は、別の購入先を選定し、同様の試験を行い、適合した材料を使用するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

21 工事標示板

受注者は、草加市指定の工事標示板（色・形状・寸法・イラスト）を使用するとともに、請負金額、工事請負単価（原則1mあるいは1㎡当たり）、緊急連絡先、道路使用許可証の写し等を明示しなければならない。また、工事標示板、工事予告板、規制標識等の路上工事看板は、歩行者等の安全を考え、緩衝材（ソフトカバー）を取り付けるものとする。

22 協議書

受注者は、工事の施工について協議を必要とする事項が生じた場合は、指定の「協議書」を使用するものとする。

23 工事区間内にあるごみ集積所の対応

工事仕様書

受注者は、工事に伴う車両通行止め等により、工事区間内にあるごみ集積所のごみが未回収とならないよう、当該集積所に集められたごみを工事区間外へ移さなければならない。

なお、移動位置等については、監督員の指示を受けるものとする。

24 交通誘導員

受注者は、交通に支障となる箇所には、現場の実状や施工方法により、これに対応する交通誘導員を配置しなければならない。また、交通誘導員は、道路使用許可書の写しを携帯しなければならない。

25 民地内の施工

受注者は、民地内を施工する際には、監督員、地権者等の承諾を得てから着工しなければならない。

26 構造物等が越境した場合の是正

施工した構造物等が越境している場合については、受注者は、発注者が定めた期限までに是正するものとする。

27 請負代金額の変更

草加市建設工事請負契約約款第19条及び第24条で規定する請負代金額の変更協議については、設計図書の訂正又は変更に伴う変更工事価格に落札率を乗じた額を原則として行うものとする。

28 工事を中止する場合の安全対策

草加市建設工事請負契約約款第20条で規定する工事中止については、受注者の責務において工用地等の安全を確保するものとする。

特記仕様書

[水道特記]

(配水管技能者の配置)

- 1 受注者は、ダクタイル鋳鉄管及び配水用ポリエチレン管の工事着手に先立ち、配水管技能者の技能者登録証等の写しを提出すること。配水管技能者は、主に管の芯出し、据付け接合及び融着を行うものとし、配管作業中は、常に配水管技能者登録証等を携帯し、配水管技能者であることが識別できるようにすること。なお、配水管技能者とは、発注者が認めた配水管技能者、日本水道協会及び日本ダクタイル鉄管協会の配水管技能登録者（一般登録・耐震登録・大口径）、配水用ポリエチレンパイプシステム協会の配管技能登録者又はそれと同等以上の技能を有する者をいう。

(エアバック止水工)

- 2 エアバック止水工を施工する場合は、エアバック技能講習修了者により施工すること。

(切管端部の補修)

- 3 切管端部の補修については、GX形ダクタイル鋳鉄管用管端防食キャップを使用すること。キャップ設置後は、全ての工事記録を管理し、工事の完成における提出書類として提出すること。また、防食キャップを使用しない管端部については、担当監督員の指示に従い施工すること。

(直接排水工)

- 4 直接排水工の排水口は、既存のグレーチング蓋の有る箇所に設置することを標準とする。

(分水替工)

- 5-1分水替工がある場合の穿孔ドリル及びカッターは、粉体管専用を使用しφ25mmはφ23.1mm、φ50mmはφ49.5mmで施工を行い、密着コアを挿入する際は、全箇所の施工状況及び完了状況の記録を作成すること。なお、完了状況の記録については、密着コアが管内に設置されている状況写真を作成すること。また、施工範囲は、所有者の承諾を得て次のとおり施工するものとする。

- (1) 接続管がポリエチレン管及びH I管の場合は、ボールバルブ（メーター手前の止水栓）への接続

特記仕様書

まで行うものとする。

(2) ボールバルブへの接続が困難な場合は、止水栓までの設置を原則とする。

(3) 既設給水管所有者等からの了解が得られない場合は、道路下での接続とするものとする。

(4) 給水管は水道用ポリエチレン二層管及び配水用ポリエチレン管とする。施工前に必要に応じて監督員と協議すること。

なお、接続位置は本管に近い位置で行うものとする。

(分水替工)(H P P E)

5-2分水替工がある場合の穿孔機は、サドル付分水栓に適応しているものを使用すること。施工範囲は所有者の承諾を得て、メーターまでの給水管を水道用ポリエチレン二層管及び配水用ポリエチレン管とする。施工前に必要に応じて監督員と協議すること。

分水替の施工は、草加市給水工事施工基準に準じること。その他、施工時における変更については担当監督員と協議するものとする。

(水道材料)

6 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を規定された物を除き日本工業規格、日本水道協会規格又は草加市が認証する水道用材料を使用しなければならない。

(工事用材料)

7 工事用材料は、使用前にその品質、寸法について監督員の検査を受け合格した材料を使用する。

(境界杭)

8 工事に当たっては、事前に境界杭の確認を行うものとする。

なお、境界杭の復元が必要な場合は、埼玉県測量作業共通仕様書及び埼玉県公共測量作業規程に基づき、専門知識を有する者(測量士・測量士補)が行うものとする。また、民杭を撤去等する場合は、事前に地権者に立会いを求め、その後は、責任を持って復元するものとする。

特記仕様書

(注意事項)

9 分水替については、本管の洗管完了後に監督員が行う水質検査及び水圧検査を受け、草加市が定める基準に合格した後に施工するものとする。

(仕切弁操作)

10 受注者の判断で、仕切弁操作を行わないこと。ただし、緊急時又は監督員からの指示があった場合はこの限りではない。

(試掘工)

11 試掘を施工する場合は、土曜日、日曜日、祝日を避け施工すること。
ただし、交通事情等やむを得ないときには、監督員と協議の上、施工すること。また、標準寸法はW0.8L1.2DP1.2とする。これにより難しい場合、監督員に確認の上、適宜対応するものとする。

(工事中の路面の段差)

12 工事で路面に段差が生じた場合は、通行上の支障とならないよう速やかに擦りつけ等を行うとともに標識、路面標示等の設置により通行者に対し周知するものとする。

(仮区画線工)

13 舗装復旧等の施工により区画線が消滅した場合は、交通解放前に仮区画線を設置するものとする。

(区画線工)

14 区画線工がある場合は、埼玉県道路標示設置要領に基づくものとする。なお、設計上に疑義が生じた場合は、埼玉県警察本部交通規制課の指示事項を確認の上、施工するものとする。

(納品)

特記仕様書

15 受注者は、工事の完成における提出書類に下記の物を併せて提出するものとする。

- (1) 産業廃棄物管理表(マニフェスト)E票の写し(検査時は原本持参とする。)
- (2) 建設発生土の受入証明(原本)、他法令等の許可証写し
- (3) 再資源化等報告書

(電子成果品)

16 電子成果品は「草加市電子納品運用ガイドライン」に基づき作成し、データを格納した電子媒体(CD-R)を正、副各1部提出する。なお、電子成果品によらないものは、従来どおり紙で納品する。

(提出書類)

17 受注者は、工事の完成において次の提出書類を2部提出するものとする。

- (1) 出来形数量総括表
- (2) 完成図(本管、分水替)
- (3) 仕切弁台帳
- (4) 舗装復旧、区画線出来形図
- (5) その他

なお、(2)については、工事完成検査後に一部、製本せずに提出すること。

(既設給水管)

18 既設給水管については、原則撤去するものとする。

なお、撤去不可能と思われる給水管については、担当監督員と協議するものとする。

(草加市地元企業優先発注等に係る実施方針)

19 工事の施工に伴い、下請業者(協力業者)を選定する場合には、市内業者を優先的に選定するよう努めるものとする。また、建設用資材の購入や建設機械の借入等をする際においても、市内業者を優先的に選定するよう努めるものとする。

特記仕様書

(工事作業時間)

20 工事作業時間は、夜間工事の場合午後9時00分から午前5時00分までとし、前後30分間は準備・後片付けの時間とする。

なお、道路使用許可時間以外に作業をすることが予想される場合は、事前に監督員と協議し、警察及び関係住民に連絡すること。ただし、道路工事等協議書により時間帯が指定されている場合は、当該協議書を優先するものとする。

(配水用ポリエチレン管施工時の厳守事項)

21 受注者は以下の(1)から(5)までの内容及び施工方法について、施工計画書を作成し、その内容について作業員への周知徹底を図ること。また補完する情報として、「水道配水用ポリエチレン管及び管継手施工マニュアル 維持管理マニュアル(配水用ポリエチレンパイプシステム協会)」に準じるものとする。

(1) 降雨時のEF接合の原則禁止

やむを得ず接合させる場合は接合部(管及び継手)及びコントローラー、発電機等の電源部が漏れないように措置をした後、十分注意して作業すること。

(2) 外気温が-10℃以下又は40℃以上の場合は作業中止

(3) 管融着面の切削、清掃の徹底

管の接合面を必ず専用のスクレーパーを用いて切削し、接合直前に清掃を行うこと。

(4) 融着中に異常警報が出た継手の使用禁止

融着接合中(コントローラー通電中)に異常警報が発生した継手は、いかなる場合があっても使用しないこと。発生した場合は管を切削し、新規切断面でやり直すこと。

(5) 配管時の生曲げ原則禁止

配水用ポリエチレン管の直管施工時における受注者判断での生曲げは禁止とする。設計の内容及び施工上やむを得ない場合は監督員に確認又は協議すること。

(EF継手チェックシート及びEF継手接合用コントローラーデータの提出)

特記仕様書

22 EF継手チェックシートは、EF継手の全箇所を提出すること。EF継手接合用コントローラーのデータについては監督員の求めに応じて提出するものとする。

(応急給水栓)

23 市内小中学校については指定避難所に指定されていることから、避難時の水利用を目的とした応急給水栓及び表示看板を設置すること。設置場所等は担当監督員と協議するものとする。

(関連工事との調整)

24 本工事と関わる関連工事とは施工箇所、日程等を事前に調整して安全に工事を実施すること。

(工時抑制期間)

25 国県道が定める工事抑制期間については遵守すること。

(飲食店等への配慮)

26 工事区間にある飲食店等については営業の支障にならないよう配慮すること。(来客者の出入り、納品車両等)

(側溝の撤去再利用)

27 側溝下に配管する箇所が存在する場合について、側溝は配管完了後に即日復旧を原則とすること。ただし、即日復旧が困難である場合は担当監督員と協議の上、復旧方法又は施工方法を決定する。

(増圧ポンプ利用施設)

28 利用施設の断水が必要な場合は事前に監督員、管理会社等と調整を行い、専門の業者立会いの下、断水作業及び施工すること。施工方法については必要に応じて担当監督員と協議すること。

(既設配水管)

特記仕様書

29 既設配水管については、原則撤去するものとする。

なお、撤去不可能と思われる配水管については、担当監督員と協議するものとする。

(洗管)

30 洗管作業は、発注者が主体的に行うものとするが、発注者が協力を求める場合は、受注者は発注者に協力すること。内容については必要に応じて監督員と協議すること。

(水圧試験)

31 本管布設後に受注者は、発注者立会いの下、水圧試験を受けること。水圧試験の準備は、受注者が行うものとするが、試験機器の準備については、必要に応じて別途監督員と協議すること。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

1 趣旨

この特記仕様書は、埼玉県（建築・電気設備・機械設備）工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

2 適用

この特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

(1) 工事名 整備事業第2-2号 消火栓設置工事

(2) 工事箇所 草加市氷川町地内 他1箇所

3 濁水の処理

受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

(1) 種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥）0.03 m³

(2) 中間処理施設 三郷市半田地内、(株)三郷興業

北葛飾郡松伏町ゆめみ野東地内、東武商事(株)

(3) 処理方法 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず。）

なお、受注者が別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

4 共通事項

受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

5 提出書類等

受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した産業廃棄物収集運搬委託契約書の写し及び許可証の写しを添付するものとする。

受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。

6 その他

濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。